

2025 年度 成城大学大学院 法学研究科 I 期 入学試験問題

法律学専攻 博士課程前期

《 行政学 》

以下の問題の両方に答えなさい。解答用紙は、それぞれの問題で1枚ずつ使い、問題の番号を冒頭に明記すること。

1. 日本の政官関係について、高度経済成長期から現在に至るまで、その実態および解釈論議がどのように変化してきたか論じなさい。
(1000文字程度)
2. 行政の執行活動研究が重要視される学問的な背景を多方面から説明し、そこから抽出される行政活動への教訓・示唆を論じなさい。
(1000文字程度)